

Title: 「全力疾走」



遠藤 謙介
1989年174cm55kgこの人生の大イベントをしっかりと駆け抜けて、太って帰って来ます。

● 最近のエントリー

- 📅 只今、KL 5 (2010.05.27)
- 📅 只今、KL 4 (2010.05.25)
- 📅 只今、KL 3 (2010.05.20)
- 📅 只今、KL 2 (2010.05.15)

● アーカイブ

- 📅 2010年10月
- 📅 2010年09月
- 📅 2010年08月
- 📅 2010年07月
- 📅 2010年06月
- 📅 2010年05月
- 📅 2010年04月
- 📅 2010年03月

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS

Your Vision, Our Future



RSS 2.0

「全力疾走」 > 2010年05月 アーカイブ

10.05.27

只今、KL 5

[Tweet](#)

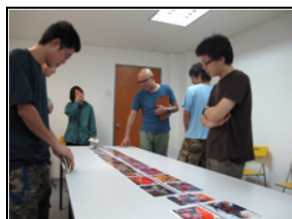
いいね! 0

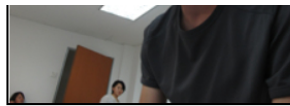
チェック

5/26

スクーリングも折り返し地点
全体講評です。

久々にみんなの写真が並べられていく様子はとても新鮮でした。





自分の理解力の無さを改めて実感しました
自分の写真を理解、説明できないようではまだまだです。

post by 遠藤 謙介 | 日時: 2010.05.27 | [パーマリンク](#) | [コメント\(1\)](#) | [トピックバック\(0\)](#)

カテゴリ:

[「全力疾走」 > 2010年05月 アーカイブ](#)

10.05.25

只今、KL 4

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

[チェック](#)

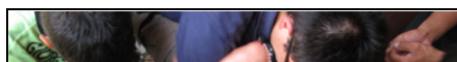
5/20~25
一回目のスクリーニングが始まりました。
今回の順番と意気込みです
鈴木ゼミ

鈴木ゼミの順番表	
名前	いきごみを書いて
1 むさし	カズは"ぶざ"!!
2 えんどう	死なない...
3 小木	逃げたんだが...
4 谷本	泣くもんか。
5 のじり	あたし、やんばら!
6 ほづみ	笑えばいいと思うよ。

飯塚ゼミ

飯塚ゼミ <small>ゆんぽんはん</small>	
1st. アイ☆ 20lまで	
2nd. はまぐちのフレッシュビーン <small>4th</small>	
3rd. 岡田 <small>暗室は おともだち</small>	
4th. YANO	
<small>2nd.</small>	
↑	↑
なまえ	つぶやき

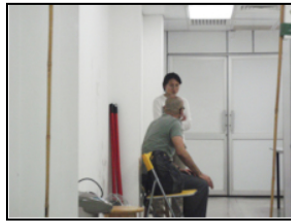
久々の対面で話しも盛り上がります。





鈴木先生との面談を終えてこのスクーリングの大切さを実感し、なにかスッキリしたような気がしました。
2ヶ月間ほどアジアを回って来て、新たな自分を発見できたことが収穫です。
それはFWを経験しなくては発見できなかった事であり、そんな気持ちを自分の写真に繋げられたらな
と思います。

昼はスクーリング、夜は写真展準備や全体講評に向けての写真構成で1日が早く過ぎていきます。
疲労困憊の人もいますが写真で悩むことは久々なので楽しいです。



カテゴリ：
post by 遠藤 謙介 | 日時: 2010.05.25 | [パーマリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

「全力疾走」 > 2010年05月 アーカイブ

10.05.20

只今、KL 3

[Tweet](#)

いいね! 0

[チェック](#)

5/14~5/19
撮影から帰って来て休み間もなく準備に突入
暗室組は2,3日前から準備を進めているので焦ります。
この期間の間に引率者が熊倉局長から音藤先生に変わりました。
局長とは少しの間お別れです。
音藤先生はまだ体調も壊さず元気にやっています。
インド頑張りましょうね。





卒業生アンディさんのお店で久々の日本食も食べる事ができました。



みんなのテンションも高くなり、なくなりつつあった元気も復活!!

どしゃ降りの中インクを買いに行くのにも慣れ、パソコンや写真と向き合う日々が続きます。



今回は人数が多いため2Lで出すのは100枚前後までと言われたため準備期間前から作業を進めていたデジタル組はすんなりと終わり自分の写真を眺めて撮れてない事に絶望、落胆、終わった事への安堵の表情が伺えます。

自分は枚数が多く、結局選びきれず100枚を軽く越えてしまいました。すいません。

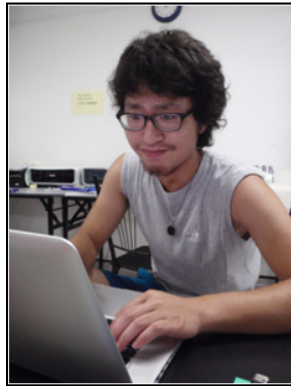
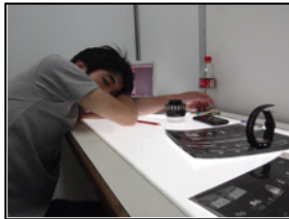


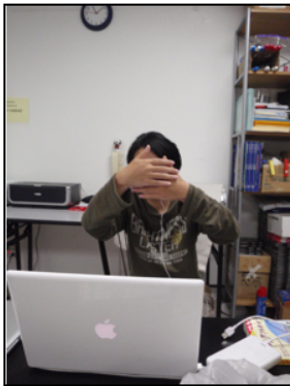


準備をして改めて実感するのが協賛して頂いている、オリンパス株式会社様、オリンパスイメージング株式会社様、富士フイルム株式会社様、株式会社堀内カラー様、株式会社ピクトリコ様、のサポートがあってこそこのFWなんだということです。本当に多大なるご協力ありがとうございます。



今日もクラスのみなさんは疲れがピークにきていたり、もはやピークを乗り越えて変な顔になっていたりしますが日々準備に励んでいます。





カテゴリ：
post by 遠藤 謙介 | 日時: 2010.05.20 | [パーマリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[「全力疾走」 > 2010年05月 アーカイブ](#)

10.05.15

只今、KL 2

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

[チェック](#)

5/7
クダサンの商店街はとても小さいです。
でも今日はフリーマーケットをやっていてとても賑やか
魚、おもちゃ、ペット、靴、香水などなんでも揃いそうぐらい

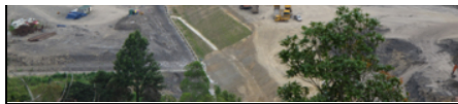


数年前までこの商店街はマレーシアで一番不潔な商店街だったらしいのですが
今は改善されたそうです。
撮影も笑顔で対応してくれました。



この商店街がある土地は地盤が弱いので5,6年後には隣の工事中の土地に移転するそうです。





「もし今度来たら全てが変わっているよ。」
ジミーさんはそう言ってました。

やはり近代化の波なのか...

実は毎日ジミーさんが私の事を自慢のビデオカメラで撮影してまして毎晩みんなで「今日の私」を見る行事がありました。



大体30分程度の上映会
これは恥ずかしかった...
だってずっと自分が画面を流れている

ジミーさんが楽しそうだったのでそれが救いです。
しかもDiscを4枚ももらいました。
これは宝物です。

5/8~5/12
クンダサンからピックアップバスで2時間ほどで次の目的地タンブナンへ



牛を見るのも慣れました

今度のホームステイ先でお世話になる人がこちら



最初見ただけで
ヤバイ!!!と感じました。
だって般若だし足にはキリストいるし...
でも全然楽しかったです。
この方はタンブナンホームステイの会長ジョアナさんの親類であるサム26才

まずはタンブナンに住んでいる人は誰でも知っているという
TVRC(Tambunan Village Resort Centre)へ



聞いただけでワクワクする場所でしたが、行ってみたらすでにこの場所のピークは過ぎていたみたいで

閑散とした広場に、池には鯉等の大量の魚、かつてレストランだった建物は今はマフィアの
アジトだとサムは笑いながら言っていました。



タンブナンで有名なのはライスワイン。日本の酒みたいなのです。
サムに飲んでみたいと伝えるとすぐに用意してもらい
通称マフィアの家でサムの友達交えて飲み会が始まりました。



飲み方はある印の所まで10~15分以内で飲み干し、水を溢れる位入れてから次の人に回すとい
うルール



3杯飲んでダウンしました。みなさん強い...
そんなに酒の事わからないですけど、とてもおいしかったです。

サムは滝にも連れてってくれました。



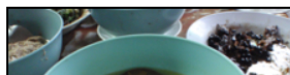
子供達も自分も震えが止まらないほど水はとても冷たかったですが、リフレッシュには最適です。



タンブナンは田園風景がとても綺麗なはずなのですが、自分が訪れた時には稲は既に収穫され雑草だらけになっていました。こればかりは仕方ない。



ここに綺麗な田園が広がるのを想像しただけで、興奮します。
夜は毎日のように異なる家でライスワインを飲みながら仲良くなる。
そしてTVRCで取った新鮮な鯉を食し





そしてタウン。



そんな日々を送っていました。
自然とマレー語も少し出来るようになりました。
トゥリマカシ=ありがとう

5/13~5/14

キナバル山登頂に成功した椿君の顔は少したくましくなっていたような。
サンダカンに移動し椿君と再会



自分達の体験談で話しは盛り上がる。お互い楽しそうで良かった良かった。



次の日、オラウータンを見に行くという椿君に着いていくことに





まさかこんなに触れ合えるとは思ってませんでした。
前方からのっそのっそと普通に歩いて来た時の興奮は忘れられません。

マレーシアの撮影がこんなに充実できたのも全ては徳田大先輩のおかげです。
どうもありがとうございました。

post by 遠藤 謙介 | 日時: 2010.05.15 | [パーマリンク](#) | [コメント\(3\)](#) | [トランプバック\(0\)](#)

カテゴリ:

「全力疾走」 > 2010年05月 アーカイブ

10.05.06

只今、クダサン

[Tweet](#)

[いいね!](#) 0

[チェック](#)

5/2

この日も徳田さんに近くのおススメのお店を紹介していただきました。
今回はいつもより少しだけ歩きます。



夜1人で歩くのは危険です。

店は大きいフードコートみたいになっていて欧米のサッカーが大画面で放送されていました。



ここでW杯が見れたらな～
どうせ日本の試合は写らないと思いますが...山田さんと志村さんが羨ましい...

帰って飛行機のEチケットをプリントしながらジェンガをやるという元気がみんなに出てきたのは安心ですね。



徳田さん強し!!

5/3

旅立ちの日

今日で大体が異学園G.H.から撮影地へ旅立ちます。

おさらいときましょう。

2日野尻氏→コタ・プル

3日矢野氏→タマン・ネガラ 穂積氏→KL 濱口氏→KL
遠藤氏→クンダサン 岡田氏→KL 小林氏→KL

4日 樫氏→キナバル山登頂

5日浅井氏→コタキナバル 谷本氏→コタ・バル

私知ってる限りアバウトにこんな感じです。只、樫君は確実です。

というわけで太陽が昇ると同じくらいに出発



まずは最初の目的地であるボルネオ島サバ州のコタキナバルへ



KLから飛行機で28時間



コハディさんの紹介でコタキナバルでお世話になるサンスウさん



この人のおかげで1日しか滞在しないコタキナバルが内容の濃い1日になった気がしました。

5/4

クンダサンへ移動

クンダサンはキナバル山の麓にあります。

尚、キナバル山は東南アジアNo.1の高さで4095m



クンダサンに近づくにつれて雲も近くなります。

以前、徳田さんが訪れた時は乾期だったようですが、

今は乾期ではないようで夜には雷鳴響く豪雨がありました。

クンダサンの情報は徳田さんのブログに詳しく書いてありますので、

私は私なりに書きたいと思います。





今回訪れたのはクダサンのシニシアン村のコハディさん宅
この辺り一帯はどの家もホームステイをやっている、
コハディさんはその会長的存在でかなり忙しいそう。
今のところまだコハディさんを家で見えていません。

5/5

早朝クダサンのガイドをしてもらうジミーさんと共にキナバル山が綺麗に見える丘へ
来る前に徳田さんが「涼しいからね」と言っていた様に本当に涼しい
徐々に外が気持ちいい気がした。



昨日は雲に隠れていてどこにあるのかも分からなかったが、朝には綺麗に雲がなくなって
雄大なキナバル山を初めて見る事が出来た。
すげ～～です。



ジミーさんはたくさん私の写真を撮ってくれます。だから自然と私が写ってきます。
韓国の岡田さん状態

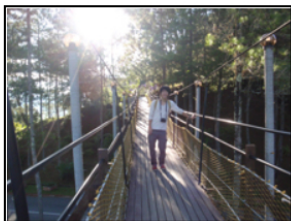


肌にごすると良い葉っぱ

この後、丘の上にあるリゾートホテルへ連れてってもらいました。



徳田さん!!本は大盛況ですよ!!ジミーさんとでも喜んでました!!
橋の上で、会議室で、警備員と、ジョギング中の観光客と





ジミーさん顔広し!!

夜には女の子の誕生日パーティへ招待してもらったり、少年楽隊による歓迎会をしてもらいました。



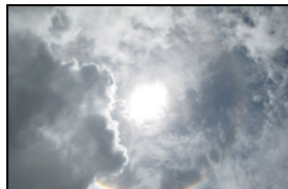
今度の土曜日に観光客が来て伝統的な衣装を着て、歌や踊りを披露する機会があるのですが、私は土曜日に移動するため残念ながら体験することができないと知ったジミーさんと子供達が私だけのためにささやかな歓迎会を開いてくれました。

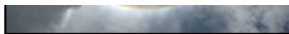


別に伝統的な衣装を着てる訳でもなく、ちょっとしたステージでもない「まだ60%ぐらいの完成度だけど、若いからパワフルな演奏だよ」とジミーさんは言ってまいりましたが、私にとっては1番最高の楽隊に見えました。伝統的な曲である「ティンギ ティンギ〜 グ〜ヌン キナバル〜〜〜」という曲が頭から離れなくなるくらい印象的なシーンでした。

5/6

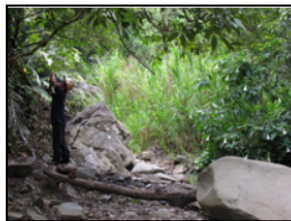
「昔は畑も少なかったけど今はすごく多くなった」とジミーさんは言う





まだこれだけ自然があるだけいいとも思ってしまうのは私だけか

段々畑をどんどん下って行くと谷底の川にでます。
ここまでの道のりは小笠原研修を思い出すほど険しい道のりでした。



残念ながら昨晩の豪雨で川は濁ってましたが軽い運動もできとても楽しいトレッキングでした。

ホームステイの家々がある坂道の下にあるレストラン



毎日お世話になっています。
午後からキナバル山の登山口であるキナバルパークへ



ここでガイドを頼んだり、ラフレシアTシャツが買えたり、登山前日に来て当日に備えてホテルに泊まったりなどが出来るんですね～
写真に写っている日本語が話せる韓国人の方に
「1人で登るの？」
と言われましたが私は登りませんということを伝えると

「なんで登らないの？明日登るから行きましょよよ」と誘われました。

そこまで言われると登りたくなくなってしまわないか。ここは我慢。ここで登ってしまうと椿君が可哀想だ。



この雲がなければ目の前には雄大なキナバルが...

ここからは椿君に任せよう。
がんばれ椿君。

キナバル山では毎年行われる行事がある。
それは、走って頂上まで行きそして下ってくるレースである。
なんと去年のレースでは男子の部2位に日本人の方が輝いていた。

TIME	RECORDED (21KM)
02 HRS.	40 MIN. 41 SEC.
02 HRS.	45 MIN. 57 SEC.
02 HRS.	53 MIN. 20 SEC.
03 HRS.	20 MIN. 15 SEC.
03 HRS.	33 MIN. 17 SEC.
03 HRS.	44 MIN. 01 SEC.

記録は28時間45分57秒!!
椿君ならできる!!

カテゴリ:

post by 遠藤 謙介 | 日時: 2010.05.06 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

「全力疾走」 > 2010年05月 アーカイブ

10.05.02

只今、KL

[Tweet](#)

いいね! 0

[チェック](#)

バタバタしてクタです。簡潔にいきたいと思います。
申し訳ないです。

4/26

カンボジア最終日ということでアンコールワットへ行き、プールに入り、ナイトマーケットへ行くなどアクティブな1日でした。





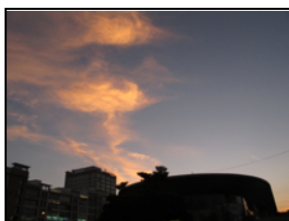
4/27
マレーシアへの移動日



久々にバイクより車が多いです。



KLでは卒業生のウォンさん、徳田さん、山田さん、志村さんにお世話になります。
異学園ゲストハウスの設備はとて良くて驚きました。
これから共同生活が始まり波乱のマレーシアになるのでしょうか。
まずはマレーシアのプランニング作業に向けてエネルギー補充
素麺をすぐに完食し、早々行動計画表の作業に取り掛かるみなさん
また夜型人間に逆戻りです。

A photograph of a table with a grid of data. The table has multiple columns and rows, with various numbers and text. It appears to be a schedule or a planning table. The text is small and difficult to read, but it seems to be organized in a structured way.

4/28

マレーシアについてまったく調べていなかったので調べる段階からスタートです。
徳田さんがいろいろとアドバイスや感想などを教えていただきとても参考になりました。



4/29

この日は大家さんが歓迎会を開いていただきました。
大家さんは千葉大の留学生だったということを知り、なんだか親近感が湧きました。
こんな豪華な場所で食べれるなんて幸せ...



4/30

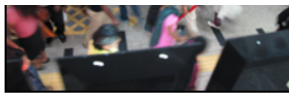
徳田さんおすすめのチャーシュー飯を食べに行きました。
徳田さん曰く中毒になる味だそうです、食べた瞬間中毒になった気がしました。



5/1

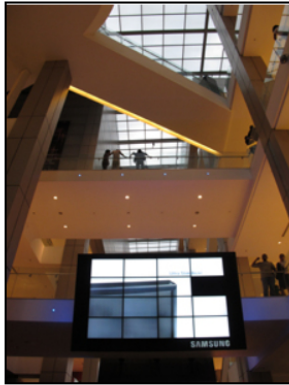
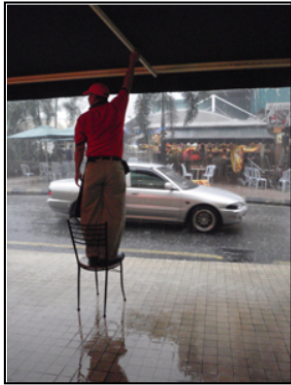
徳田さん、矢野君と共に自分がいく予定のクンダサンという村でホームステイしてもらうことになったコハディさんが今偶然KLにいるということなので会いに行くことに。





とても優しいかたでクンダサンが楽しみになってきた。

その後KL中心街をぶらぶら



早く街に慣れたいです。

おまけ
志村ゼミ開講



毎日監視されてる気分になります。





post by 遠藤 謙介 | 日時: 2010.05.02 | [パーマリンク](#) | [コメント \(1\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

カテゴリ: